

ドイツ現代史学会 第36回大会

日時：2013年 9月21日(土)・22日(日)
会場：福岡大学 中央図書館1F 多目的ホール
参加費：一般 2000円/院生・学生 1000円
事前申込み：9月13日(金)まで (お問い合わせ先参照)

9月21日(土) 12:00~15:00 (受付開始 11:30)
シンポジウムⅠ「核技術の社会文化史—欧米諸国の場合—」

問題提起・司会：若尾祐司 (名古屋大学名誉教授)

高橋博子 (広島市立大学講師) 「アメリカの核開発と被ばく問題」

市川 浩 (広島大学教授) 「ソ連版『平和のための原子』とその展開」

真下俊樹 (日本消費者連盟共同代表) 「フランス核技術開発の特質」

佐藤温子 (ドイツ・リュッベック大学 民主主義研究センター博士候補生) 「ドイツ核廃棄物抗争史」

コメント：本田 宏 (北海学園大学教授) 東原正明 (福岡大学講師)

15:15~18:15
シンポジウムⅡ「日本における戦後史学の歩み—望田幸男氏の場合—」

司会：田村栄子 (元佐賀大学教授)

講演：望田幸男 (同志社大学名誉教授)

コメント：石田勇治 (東京大学教授) 橋本伸也 (関西学院大学教授)

9月22日(日) 9:30~12:30 (受付開始 9:00)
シンポジウムⅢ「ドイツと東アジア—日独比較史から独亜関係史へ—」

総合司会：中村綾乃 (お茶の水女子大学 リーダーシップ 養成教育研究センター研究員)
北村 厚 (法政大学法学部兼任講師)

浅田進史 (駒澤大学経済学部准教授) 「19世紀グローバル化のなかのドイツ山東事業
—物流と植民地権力の関係性を中心に—」

熊野直樹 (九州大学大学院法学研究院教授) 「『満』独通商関係史—満洲大豆から阿片へ—」

田嶋信雄 (成城大学法学部教授) 「『独禍東漸』と『日禍西漸』—日独防共協定再考—」

コメント：工藤 章 (東京大学名誉教授) 平野達志 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程)

【共催】 東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構 ドイツ・ヨーロッパ研究センター (DESK)
福岡・東アジア・地域共生研究所

【お問い合わせ先】 〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1 福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所
TEL：092-871-6631(代)(内線：4046) E-Mail：gendaishigakkai2013@gmail.com
学会URL：http://gendaishigakkai2013.hatenablog.com/